

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 3806  
17年11月21日(火)  
・Fax 095-828-1953

おはようございます。

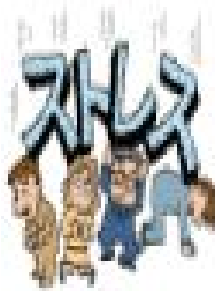
# シシヤ 来訪

長崎中央郵便局の、主に集配部でここ2週間ほど前からいからよく耳にする言葉があります。  
それは「シシヤ」

朝の班長ミーティングにおいてもほぼ毎日のように「22日はシシヤが来ますので、〇〇をしつかりしとくよつに」〇〇の中に当てはまる言葉は、体操だの掃除だの点検だのエトセトラ。

いつだかの朝始業開始のチャイムの後、郵便体操が始まる時のある課長のマイクパフォーマンス：「準備できましたか？体操始めますよ！一集二集三集！準備できましたか？まだですか？シシヤが来るんですかね、それでいいんですか？」このように22日に訪れるらしい「シシヤ」に対してやたらと私達の職場は神経を尖らせ、郵便体操で声を張り上げ、前の人に動きを合わせ、バイク点検では

今まであまりしなかつた班長の点検項目の読み上げに合わせられた点検を実施するようになり、「シシヤは点検するところ見ますよ！」「そんな体操じゃシシヤは納得しませんよ！」だのシシヤの御来訪に合わせて様々な準備を強いられております。



無論、郵便体操やバイク点検や乗車訓練は大変重要な仕事です。朝の業務のスタートに郵便体操で身体も頭も目覚めさせるにはしっかりと声を出して指先まで力を入れて曲げる所は曲げ、伸ばす時は伸ばし、汗かくほど一生懸命やるべきです。



バイク点検も乗車前に異常箇所が無いかを点検し、配達先で故障したり、走行中のトラブルによる事故を未然に防ぎ、何よりその日

命を預けるバイクです真剣に見落とし無く点検しないといけません。



乗車前訓練、多段階停止、すべてにおいて必要な事です。一人一人が自分のためにやるべき仕事です。決して「シシヤ」が来るからといって強制させられる仕事ではありません。

そもそも何故「シシヤ」が来るのでしょうか？郵便体操、点検、乗車前訓練、これらの事を今まで疎かにし、一人一人真剣に出来ていなかった結果、事故が重なり、重点局に指定されている「シシヤ来訪」ではないでしょうか？そしてその責任は私達現場の人間のせいでしょうか？狭くて手足も思いつきり伸ばせない、回せない詰め込まれた区分台のスペースも、超勤時間削減のため削られた朝のバイク点検も乗車前訓練も、私達末端の配達員から声を上げて無くした事ではありません。すべて

管理者主導の施策ではないでしょうか？



当然、事故の当事者は配達現場の人間なのは当たり前で、事故の責任は当事者が負う事にはなりますが、今回の「シシヤ来訪」は管理者の怠慢による結果ではないでしょうか？

22日に「シシヤ」が見に来るからといって日頃していなかった事を急に真面目にやれと言われて心底納得して励む職員はいません。いつそのこと今まで通りの事をやって何が悪いのか悪いのかしつかりと指導されて改善に努めるほうが納得できるんじゃないでしょうか？



上の「シシヤ」の方はかり向く前に、間違いなく混乱が予想される年末繁忙期の対策は大丈夫なのでしょう

うか？急激なゆづパツクの業務量増加に対して何の対策も打たず行き当たりばつたりの業務運行では人も疲弊し病気による突欠や交通事故、郵便事故のリスクも跳ね上がります。現場が混乱し、職員は疲弊し、そしてその結果、最終的に煽りを喰らうのはお客様です。



誰のために仕事をしているのか見つめなおし、職員もお客様も間違つた方向に向かわないように管理者の方々にはしっかりとした舵取りをお願いします。

## 今後のスケジュール

- 11月22日(水) ユニオン長崎中郵支部忘年会 19時より銅座町「二八」(日) 中央執行委員会
- 11月25日(土) 26日(日) 中央執行委員会
- 11月29日(水) 春闘共闘会議総会 18時30分 勤労福祉会館

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇。

なくその差別!

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ!